

施設カルテ
(1) 施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号		990		3.利用用途別分類		その他施設						
2.施設名		宮崎駅南自転車駐車場		4.利用圏域別分類		地域						
5.所在地(町名・番地)		老松二丁目102-1		15.設置根拠法令								
6.バス停		宮崎駅東口(180m)		16.設置条例		宮崎市自転車駐車場条例						
7.開設年月日		平成6年12月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する						
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観	 							
9.指定管理期間												
10.用途地域		商業地域										
11.財産区分		公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		平成5年の宮崎駅高架化による新たな駅舎およびJR宮崎フレスタの開業に伴い、駅周辺に1,000台程度の新たな買い物客・通勤・通学者の自転車利用者が見込まれたことから設置した。										
13.主な利用者		・各学校生徒・駅利用者		19. 内部	 							
14.利用者駐車可能台数		0台										
20.避難所の指定(標高)		-		5.20 m								
21.投票所の指定				無								
22. 土地情報	土地面積		300.00 m ²		24. 建物情報	総延床面積		488.82 m ²				
	現況地目		宅地			取得価額計(開始時簿価計)		18434千円 (一)				
	土地所有形態		借受			階数・構造(主たる建物)		地上2階・S・鉄骨				
	借受面積		300.00 m ²			建築年(主たる建物)		1994年				
23. 利用情報	(区分・単位)		平成28年度決算			平成27年度決算		法定点検(主たる建物)		未対象		
			台	前年比%		台	前年比%	建物所有状況		市有物件		
	利用台数2		92,345	110.0		83,950	-	借受面積		0.00 m ²		
	開場日数		365	100.0		365	-	耐震対応(主たる建物)		対応済		
	日あたり利用台数		253	110.0		230	-	未利用スペース		0 m ²		
25. 収入	(区分・単位)		平成28年度決算			平成27年度決算		(区分・単位)		平成28年度決算		平成27年度決算
			千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)		0	-	0	-	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		919	106.2	865	-
	使用料(減免後)②		0	-	0	-	施設のコスト		169	147.0	115	-
	その他③		0	-	0	-	事業のコスト		0	-	0	-
	《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-	人に係るコスト		750	100.0	750	-
	指定管理者の収入計⑤		0	-	0	-	指定管理者の支出計⑨		0	-	0	-
	指定管理料⑥		0	-	0	-	施設のコスト		0	-	0	-
	利用料金収入		0	-	0	-	自主事業以外のコスト		0	-	0	-
	自主事業収入		0	-	0	-	自主事業のコスト		0	-	0	-
その他収入		0	-	0	-	人に係るコスト		0	-	0	-	
収入合計⑦		0	-	0	-	支出合計⑩		919	106.2	865	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		-		-		28.工事請負費・修繕費		56	-	0	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)		0		0		31. 市負担		919	106.2	865	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)		0		0		市負担割合(%) (⑩÷⑧)		100	100.0	100	-	
32.施設所管課		生活安全課		33.施設主管課		生活安全課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	990	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	宮崎駅南自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		53.7			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.1			
①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	22.000 年	53.2	25.800 年
			劣化度点数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
			評価値	53.7		
②供給評価	床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用台数	253.000 台	51.1	235.000 台
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量率	0.518 台	45.4	0.902 台
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	100.484	54.1	81.900
			評価値	50.2		
③財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	46.4	99.440 %
			市負担額(ソフト)前年度比	99.800 %	55.6	100.922 %
			建物1㎡当たりの市負担額	1.880 千円	56.9	5.619 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	0.010 千円	57.2	0.016 千円
			評価値	54.0		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	990	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎駅南自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価、供給評価、財務評価の合計全て平均を上回っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】2階の利用が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】駐輪場の利用料金は無料としているため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に複数の同じ利用用途の施設が点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎駅北自転車駐車場、宮崎市保健所・中央保健センター、科学技術館ほか28施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	施設は、宮崎駅の南側に設置されていること、また、東口および西口にバス停が設置されていることから交通事情はきわめて良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央東) 【現在の人口】24,777人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	990	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎駅南自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組み、維持管理費を削減する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	他の自転車駐車場などと比較して、建物の品質評価は平均以上であり、築21年であるが、平成23年度に鉄骨塗装改修及び床島鋼板腐食部の取替工事を行っており、床、柱や屋根の老朽化は低く、定期点検においても大規模改修は不要と考えている。施設にかかるコストも低く1階は多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	駅に隣接して設置されており、1日253台程度の通勤・通学者などの利用があり、1階の利用は多い。施設にかかるコストは169千円程度であり、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	990	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎駅南自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組み、維持管理費を削減する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	他の自転車駐車場などと比較して、建物の品質評価は平均以上であり、築21年であるが、平成23年度に鉄骨塗装改修及び床島鋼板腐食部の取替工事を行っており、床、柱や屋根の老朽化は低く、定期点検においても大規模改修は不要と考えている。施設にかかるコストも低く1階は多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	駅に隣接して設置されており、1日253台程度の通勤・通学者などの利用があり、1階の利用は多い。施設にかかるコストは169千円程度であり、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	1050	3.利用用途別分類	その他施設								
2.施設名	宮崎駅北自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	錦町151-1	15.設置根拠法令									
6.バス停	宮崎駅(110m)	16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例								
7.開設年月日	平成6年12月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 								
9.指定管理期間											
10.用途地域	商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	平成5年に宮崎駅が高架化されたことにより、新たな駅舎およびJR宮崎フレスタが開業し、買い物客や通勤・通学者などの自転車利用者が1,000人程度増えることが見込まれることから設置した。				19. 内部	 					
13.主な利用者	市民										
14.利用者駐車可能台数	0台										
20.避難所の指定(標高)	— 5.00 m										
21.投票所の指定	無										
22. 土地情報	土地面積	700.00 m ²		24. 建物情報	総延床面積	999.72 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	37701千円 (—)					
	土地所有形態	借受			階数・構造(主たる建物)	地上2階・S・鉄骨					
	借受面積	700.00 m ²			建築年(主たる建物)	1994年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	未対象				
		台	前年比%	台	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用台数2	214,255	100.0	214,255	—	借受面積	0.00 m ²				
	開場日数	365	100.0	365	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
日あたり利用台数	587	100.0	587	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,118	105.6	1,059	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	368	119.1	309	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	1,118	105.6	1,059	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	50	138.9	36	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	31. 市負担	1,118	105.6	1,059	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,118	105.6	1,059	—		
					市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	生活安全課		33.施設主管課	生活安全課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	1050	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	宮崎駅北自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		55.8			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		57.0			
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	22.000 年	53.2	25.800 年	
		劣化度点数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
		評価値	55.8			
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	587.000 台	71.6	235.000 台	
		建物1㎡当たりの利用量率				
		建物1㎡当たりの利用量率	0.587 台	46.2	0.902 台	
		土地1㎡当たりの利用量率				
		市負担額千円当たりの利用量	191.641	74.0	81.900	
		評価値	63.9			
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	100.000 %	46.4	99.440 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	104.400 %	32.6	100.922 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	1.118 千円	58.3	5.619 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
		利用量当たりの市負担額	0.005 千円	62.9	0.016 千円	
		評価値	50.1			
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1050	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎駅北自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価、供給評価、財務評価全て平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの利用率率【原因】1階の利用は多いが、2階の利用が低い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】市営駐輪場の利用料金は無料としているため。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】光熱水費及び照明器具修繕料が前年度より多くなったため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に複数の同じ利用用途の施設が点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎駅南自転車駐車場、江平自転車歩行者道公衆便所(下原町)、下原町自転車保管所ほか29施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	施設は、宮崎駅の北側に設置されていること、また、東口および西口にバス停が設置されていることから交通事情はきわめて良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央東) 【現在の人口】24,777人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】1.9億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1050	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎駅北自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築22年であるが、平成24年度に鉄骨部の塗装改修工事を行っており、床、柱や屋根の老朽化は低く、定期点検においても、大規模改修は不要と考えている。利用者は多く、現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	駅に隣接して設置されており1日587台程度の利用があり、利用可能台数の72%が利用されており、施設にかかるコストは368千円程度である。、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1050	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎駅北自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築22年であるが、平成24年度に鉄骨部の塗装改修工事を行っており、床、柱や屋根の老朽化は低く、定期点検においても、大規模改修は不要と考えている。利用者は多く、現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	駅に隣接して設置されており1日587台程度の利用があり、利用可能台数の72%が利用されており、施設にかかるコストは368千円程度である。、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1) 施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	1000	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	田野駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2698-1	15.設置根拠法令			
6.バス停	田野駅前(90m)	16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例		
7.開設年月日	昭和53年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	近隣商業地域		19. 内部	 	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野駅は1日平均700人程度の乗車人員があり、通勤・通学者などが利用する自転車駐車場の需用に対応するとともに、駅周辺に自転車を放置させないために設置した。施設は、田野駅の南口に田野駅第1自転車駐車場、田野駅第2自転車駐車場が設置されている。また、北口に田野駅第3自転車駐車場が設置されている。田野駅第3自転車駐車場は道路拡幅に伴い、平成25年4月に移転した。				
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	— 126.70 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	316.00 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		台	前年比%	台	前年比%
	利用台数2	40,880	123.1	33,215	—
	開場日数	365	100.0	365	—
	日あたり利用台数	112	123.1	91	—
24. 建物情報	総延床面積	224.04 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	9765千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨			
	建築年(主たる建物)	1998年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入		0	—	0	—
収入合計⑦	0	—	0	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	798	99.9	799	—
	施設のコスト	48	98.0	49	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	798	99.9	799	—	
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	798	99.9	799	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	生活安全課	33.施設主管課	生活安全課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	1000	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	田野駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C				
	品質評価の評価(偏差値)		54.7				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		47.0				
①品質評価	耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	15.300	年	58.8	25.800	年
		劣化度点数(棟平均)	0.000	件	59.5	1.900	件
		耐震対応(棟平均)	4.300	点	43.4	4.700	点
		クレーム点数	5.000	点	55.3	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	56.3	0.900	件
		評価値			54.7		
②供給評価	利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	112.000	台	42.5	235.000	台
		建物1㎡当たりの利用量率		人			人
		建物1㎡当たりの利用量率	0.500	台	45.2	0.902	台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	51.228		43.3	81.900	
		評価値			43.7		
③財務評価	市負担割合の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	100.000	%	46.4	99.440	%
		市負担額(ソフト)前年度比	99.900	%	55.1	100.922	%
		建物1㎡当たりの市負担額	3.562	千円	53.8	5.619	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	0.020	千円	45.8	0.016	千円
		評価値			50.3		
品質評価の分布図							

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1000	利用用途別分類	その他施設
施設名	田野駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点以上、供給評価は平均点未満、財務評価は平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】耐震対応【原因】築年数が古い。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】日あたり利用台数【原因】他の中心市街地の駐輪場と比べると利用が少ない。 ②【評価指標】建物1㎡あたりの利用量率【原因】他の中心市街地の駐輪場と比べると利用が少ない。 ③【評価指標】市負担額千円あたりの利用量【原因】施設に係るコストはない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】市営駐輪場の利用料金は無料としているため。 ②【評価指標】利用料当たりの市負担額【原因】利用が少ないため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に同じ利用用途の施設はない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	田野小学校、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野町児童センターほか23施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	施設は、田野駅の北口、南口に設置されており、南口前には駅前バス停も設置されていることから交通事情はきわめて良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】11,155人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.5億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	1000	利用用途別分類	その他施設
施設名	田野駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と今後の光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、平成25年4月には、老朽化の著しかった田野駅第3自転車駐車場を移転新築した。また、定期点検による、田野駅第1、第2自転車駐車場の、柱や屋根の劣化も低く大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低いため現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	駅に隣接して設置されており、1日112台程度の通勤・通学者などの利用があり、近隣に同じ利用用途の施設はなく施設にかかるコストも低い。、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	1000	利用用途別分類	その他施設
施設名	田野駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と今後の光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、平成25年4月には、老朽化の著しかった田野駅第3自転車駐車場を移転新築した。また、定期点検による、田野駅第1、第2自転車駐車場の、柱や屋根の劣化も低く大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低いため現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	駅に隣接して設置されており、1日112台程度の通勤・通学者などの利用があり、近隣に同じ利用用途の施設はなく施設にかかるコストも低い。、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	1080	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	一番街第一自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	橘通西三丁目97	15.設置根拠法令			
6.バス停	ボンベルタ橋前(70m)	16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例		
7.開設年月日	平成16年3月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	商業地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	買物客や通勤者などによる中心市街地(橘通デパート前や一番街など)における放置自転車数の拡大を受け、平成6年に一番街のアーケード内(約310m)を自転車放置禁止区域に指定した。区域指定に伴い、放置自転車数の増加が見込まれたほか、歩行者の安全性の確保や都市景観の形成、商店街の活性化に対応するため、設置した。		19. 内部	 	
13.主な利用者	市民				
14.利用者駐車可能台数	0台				
20.避難所の指定(標高)	— 5.20 m				
21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	371.75 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有(一部借受)			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		台	前年比%	台	前年比%
	利用台数2	91,571	200.7	45,625	—
	開場日数	365	100.0	365	—
	日あたり利用台数	251	200.8	125	—
24. 建物情報	総延床面積	660.85 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	18000千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・S・鉄骨			
	建築年(主たる建物)	2000年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		47	100.0	47	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		47	100.0	47	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	47	100.0	47	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	47	100.0	47	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0		0		
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	956	98.2	974	—
	施設のコスト	206	92.0	224	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	956	98.2	974	—	
28.工事請負費・修繕費	68	93.2	73	—	
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	909	98.1	927	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	95	99.9	95	—	
32.施設所管課	生活安全課		33.施設主管課	生活安全課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	1080	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	一番街第一自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		55.8			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		56.8			
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	16.000 年	58.2	25.800 年	
		劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
		評価値	55.8			
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	251.000 台	51.0	235.000 台	
		建物1㎡当たりの利用量率				
		建物1㎡当たりの利用量率	0.380 台	43.7	0.902 台	
		土地1㎡当たりの利用量率				
		市負担額千円当たりの利用量	100.738	54.1	81.900	
		評価値	49.6			
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	95.080 %	78.3	99.440 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	98.500 %	62.1	100.922 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	1.376 千円	57.8	5.619 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
		利用量当たりの市負担額	0.010 千円	57.2	0.016 千円	
		評価値	63.9			
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1080	利用用途別分類	その他施設
施設名	一番街第一自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点以上、供給評価は平均点未満、財務評価は平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】1階の利用率は高いが、2階の利用率が低い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に複数の同じ利用用途がある。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)、宮崎駅北自転車駐車場、宮崎駅南自転車駐車場ほか41施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	MRT Micc駐輪場	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	橋通り220号線から西に100mほど南進した位置にあり、橋通り沿いには、バス停留所が設置されているなど、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央東) 【現在の人口】24,777人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1080	利用用途別分類	その他施設
施設名	一番街第一自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	本施設は、築16年であり、2階床面の塗装劣化など見受けられるが、中心市街地に位置し、買い物客や通勤者など1階の利用は多く、放置禁止区域である橋通りへの自転車を放置させないためにも現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	中心市街地である一番街の近くに位置し、1日あたり251台程度の利用があり、買い物客や通勤者など1階の利用は多く、中心市街地へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、放置禁止区域に駐輪している自転車利用者を誘導するための主要な施設であり、施設にかかるコストも206千円程度である点から継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

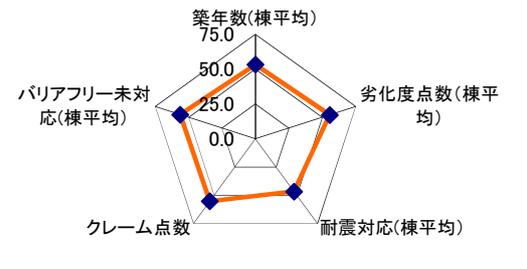
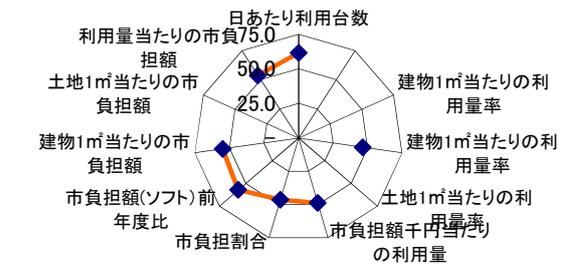
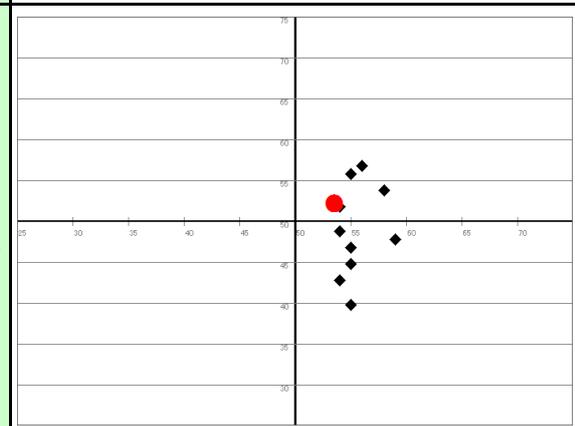
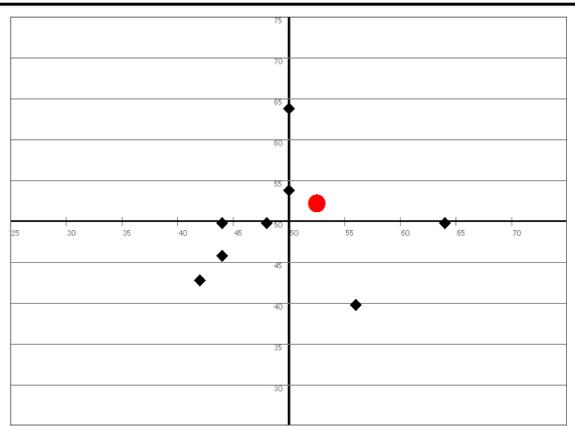
施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	1080	利用用途別分類	その他施設
施設名	一番街第一自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	本施設は、築16年であり、2階床面の塗装劣化など見受けられるが、中心市街地に位置し、買い物客や通勤者など1階の利用は多く、放置禁止区域である橋通りへの自転車を放置させないためにも現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	中心市街地である一番街の近くに位置し、1日あたり251台程度の利用があり、買い物客や通勤者など1階の利用は多く、中心市街地へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、放置禁止区域に駐輪している自転車利用者を誘導するための主要な施設であり、施設にかかるコストも206千円程度である点から継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1) 施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	1090	3.利用用途別分類	その他施設								
2.施設名	南宮崎駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	東大淀二丁目54	15.設置根拠法令									
6.バス停	南宮崎駅前(60m)	16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例								
7.開設年月日	平成9年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 								
9.指定管理期間											
10.用途地域	商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	南宮崎駅には昭和50年、60年に計約200台分の自転車駐車場を設置した。しかし、その後、放置自転車が常時約300台見受けられ、放置自転車の増加に対応する必要があるため、平成9年に同駅周辺を自転車放置禁止区域に指定し、自転車駐車場を追加設置した。第1自転車駐車場の建物の1階はJRが駐車場として使用しており、2階が駐輪場である。なお、敷地については、JRIに平成8年度から借用している。(587㎡)		19. 内部	 							
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)				— 5.20 m					
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定				無					
22. 土地情報	土地面積	731.40 ㎡				24. 建物情報	総延床面積	681.32 ㎡			
	現況地目	宅地		取得価額計(開始時簿価計)	36841千円 (—)						
	土地所有形態	所有(一部借受)		階数・構造(主たる建物)	地上2階・S・鉄骨						
	借受面積	0.00 ㎡		建築年(主たる建物)	1997年						
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	未対象				
		台	前年比%	台	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用台数2	154,395	104.7	147,460	—	借受面積	0.00 ㎡				
	開場日数	365	100.0	365	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
日あたり利用台数	423	104.7	404	—	未利用スペース	0 ㎡					
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,007	99.6	2,015	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	1,257	99.4	1,265	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	2,007	99.6	2,015	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	97	102.1	95	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,007	99.6	2,015	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	生活安全課		33.施設主管課	生活安全課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	1090	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	南宮崎駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A				
	品質評価の評価(偏差値)		53.4				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.8				
①品質評価	耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	22.000	年	53.2	25.800	年
		劣化度数(棟平均)	0.800	件	55.5	1.900	件
		耐震対応(棟平均)	4.500	点	46.7	4.700	点
		クレーム点数	5.000	点	55.3	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	56.3	0.900	件
		評価値			53.4		
②供給評価	床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	423.000	台	61.6	235.000	台
		建物1㎡当たりの利用量率		人			人
		建物1㎡当たりの利用量率	0.621	台	46.6	0.902	台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	76.928		48.9	81.900	
		評価値			52.4		
③財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	100.000	%	46.4	99.440	%
		市負担額(ソフト)前年度比	99.500	%	57.1	100.922	%
		建物1㎡当たりの市負担額	2.946	千円	54.9	5.619	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	0.013	千円	53.8	0.016	千円
		評価値			53.1		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				
							

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1090	利用用途別分類	その他施設
施設名	南宮崎駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質、供給、財務とも全て平均点を上回っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】耐震対応【原因】4棟のうち1棟の建築年が古い。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】建物1㎡当たりの利用率率【原因】2階建て駐輪場は、通路を内部に設けているため。 ②【評価指標】市負担額千円あたりの利用量【原因】土地賃借料が他駐輪場に比べ高いため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】市営駐輪場の利用料金は無料としているため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に類似する施設はない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市恒久児童館、南部記念体育館、児童クラブ(恒久小学校)ほか23施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	施設は、南宮崎駅に設置されていること、また、300mほど離れた場所にある宮交シティにバスターミナルが設けられており交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大淀) 【現在の人口】24,407人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1090	利用用途別分類	その他施設
施設名	南宮崎駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築19年を超えており、一部柱や天井にさびが見られるが、全体的に床、柱や屋根の老朽化は低く、定期点検においても大規模改修は不要と考えている。多くの利用もあり現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	駅に隣接して設置されており、1日423台程度の通勤・通学者などの利用があり、利用可能台数の79%程度は利用している。駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1090	利用用途別分類	その他施設
施設名	南宮崎駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築19年を超えており、一部柱や天井にさびが見られるが、全体的に床、柱や屋根の老朽化は低く、定期点検においても大規模改修は不要と考えている。多くの利用もあり現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	駅に隣接して設置されており、1日423台程度の通勤・通学者などの利用があり、利用可能台数の79%程度は利用している。駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	1140	3.利用用途別分類	その他施設								
2.施設名	清武駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	清武町船引484-6	15.設置根拠法令									
6.バス停	清武駅(60m)	16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例								
7.開設年月日	昭和53年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	近隣商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	清武駅は1日平均500人程度の乗車数がある清武地域の拠点となっており、通勤者や大学通学者などの自転車利用者が見込まれるとともに、駅周辺に自転車を放置させないために設置した。なお、建物の老朽化により、合併に伴う新市基本計画にもとづき平成25年度に改修を行った。										
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	— 22.70 m								
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	2,204.46 m ²				24. 建物情報	総延床面積	48.02 m ²			
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	— (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・LG・軽量鉄骨				
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	2014年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	未対象				
		台	前年比%	台	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用台数2	56,210	84.2	66,795	—	借受面積	0.00 m ²				
	開場日数	365	100.0	365	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
	日あたり利用台数	154	84.2	183	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	885	104.0	851	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	135	133.7	101	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	885	104.0	851	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	0		—			
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0		—		31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	885	104.0	851	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		—		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100		100.0			
32.施設所管課	生活安全課		33.施設主管課		生活安全課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	1140	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	清武駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		59.2			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		47.9			
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	2.000 年	70.0	25.800 年	
		劣化度数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
		評価値	59.2			
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	154.000 台	45.1	235.000 台	
		建物1㎡当たりの利用量率		人		人
		建物1㎡当たりの利用量率	3.207 台	77.7	0.902 台	
		土地1㎡当たりの利用量率		人		人
		市負担額千円当たりの利用量	63.514	46.0	81.900	
		評価値	56.3			
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	100.000 %	46.4	99.440 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	104.000 %	34.6	100.922 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	18.430 千円	26.4	5.619 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額		千円		千円
		利用量当たりの市負担額	0.016 千円	50.4	0.016 千円	
		評価値	39.5			
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1140	利用用途別分類	その他施設
施設名	清武駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価、供給評価は、平均点以上、財務評価は平均点未満である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】日あたり利用台数【原因】他の中心市街地の利用台数と比べると低いが、利用可能数の50%以上の利用あり。 ②【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用率が低いため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】市営駐輪場の利用料金は無料としているため。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】前年度に比べ除草委託料等の増によるため。 ③【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】施設にかかるコストは年間135千円程度である。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に同じ利用用途の施設はない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	第2分団第15部消防機庫、西新町公民館、適応指導教室(希望教室)ほか31施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	施設は、駅の南側に設置されていること、また付近に清武駅前バス停が設置されていることから交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(清武) 【現在の人口】29,050人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】0.3億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	1140	利用用途別分類	その他施設
施設名	清武駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は、継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	平成25年度に老朽化した既存駐車場の撤去、新たな屋根付駐輪場の設置などの整備を行った。近隣に同じ利用用途の施設はなく、通勤者や大学通学者の利用が多く、現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	平成25年度に老朽化した既存駐車場の撤去、新たな屋根付駐輪場の設置などの整備を行った。近隣に同じ利用用途の施設はなく、1日あたり154台程度の通勤者や大学通学者の利用があり、利用可能台数の50%程度の利用はあり、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

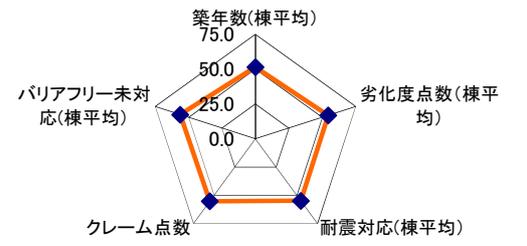
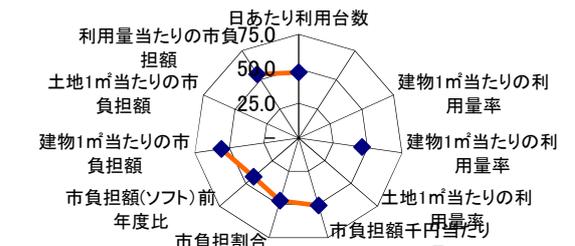
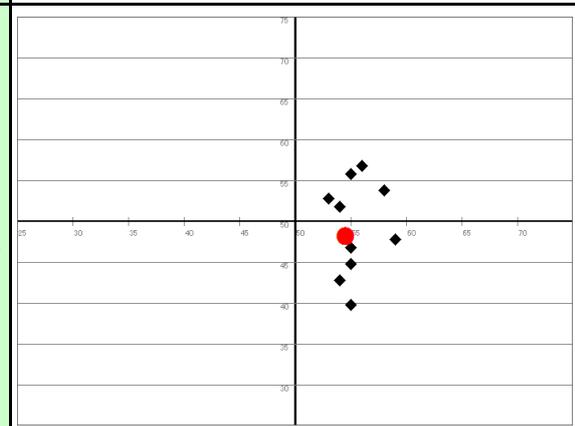
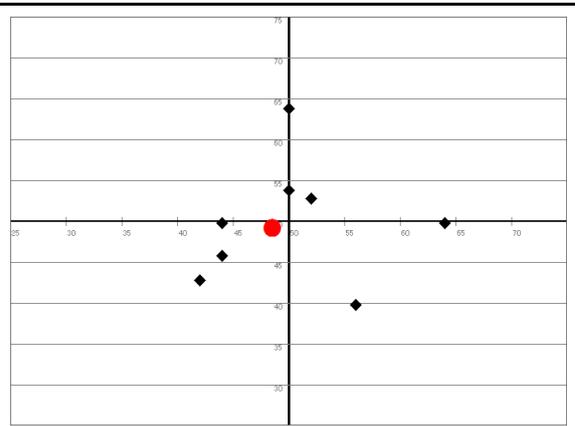
施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	1140	利用用途別分類	その他施設
施設名	清武駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は、継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	平成25年度に老朽化した既存駐車場の撤去、新たな屋根付駐輪場の設置などの整備を行った。近隣に同じ利用用途の施設はなく、通勤者や大学通学者の利用が多く、現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	平成25年度に老朽化した既存駐車場の撤去、新たな屋根付駐輪場の設置などの整備を行った。近隣に同じ利用用途の施設はなく、1日あたり154台程度の通勤者や大学通学者の利用があり、利用可能台数の50%程度の利用はあり、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	1180	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	佐土原駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	佐土原町松小路9-9	15.設置根拠法令			
6.バス停	佐土原総合支所前(200m)	16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例		
7.開設年月日	平成14年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	商業地域		19. 内部	 	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	佐土原駅は1日平均1,000人程度の乗車数がある佐土原地域の拠点となっており、通勤・通学者などの自転車利用者が見込まれるとともに、駅周辺に自転車を放置させないために設置した。				
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	— 11.60 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	680.17 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		台	前年比%	台	前年比%
	利用台数2	70,445	86.5	81,395	—
	開場日数	365	100.0	365	—
	日あたり利用台数	193	86.5	223	—
24. 建物情報	総延床面積	331.83 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	30121千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨			
	建築年(主たる建物)	1992年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		1	33.3	3	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		1	33.3	3	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	1	33.3	3	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	825	96.2	858	—
	施設のコスト	75	69.4	108	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	825	96.2	858	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	0	0.0	50	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1	33.3	3	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	824	96.4	855	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.2	100	—
32.施設所管課	生活安全課	33.施設主管課	生活安全課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	1180	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	佐土原駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		54.5			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		49.1			
① 品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	24.000 年	51.5	25.800 年	
		劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
		評価値	54.5			
② 供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	193.000 台	47.4	235.000 台	
		建物1㎡当たりの利用量率				
		建物1㎡当たりの利用量率	0.582 台	46.1	0.902 台	
		土地1㎡当たりの利用量率				
		市負担額千円当たりの利用量	85.492	50.8	81.900	
		評価値	48.1			
③ 財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	99.880 %	47.1	99.440 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	102.400 %	42.6	100.922 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	2.483 千円	55.8	5.619 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
		利用量当たりの市負担額	0.012 千円	54.9	0.016 千円	
		評価値	50.1			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	1180	利用用途別分類	その他施設
施設名	佐土原駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点以上、供給評価は平均点未満、財務評価は平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】日あたり利用台数【原因】他の中心市街地と比べると利用率は低いが生徒の利用が多いため、休日等により利用率は、変動する。 ②【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】利用者の多くが生徒にあたり、利用者調査時期により利用率は変動する。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】市営駐輪場の利用料金は無料としているため。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】前年度に修繕し支出しているため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に同じ利用用途の施設はない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	松小路地区学習等供用施設、西松小路団地、佐土原町消防団第6分団本部消防団車庫ほか31施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	宮崎インター佐土原線付近にあり、佐土原駅の南に隣接しており、駅前バス停もあり交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(佐土原) 【現在の人口】34,405人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.7億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1180	利用用途別分類	その他施設
施設名	佐土原駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築14年を超えているが、定期点検の結果、床、屋根、柱の劣化も低く、大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低く、多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	駅に隣接して設置されており近隣に同じ利用用途の施設はなく、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	1180	利用用途別分類	その他施設
施設名	佐土原駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築14年を超えているが、定期点検の結果、床、屋根、柱の劣化も低く、大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低く、多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	駅に隣接して設置されており近隣に同じ利用用途の施設はなく、駅へのアクセスという点から、まちの便利さに寄与する点、また、駅周辺に自転車を放置させないためにも継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

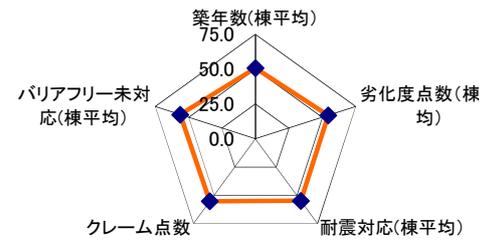
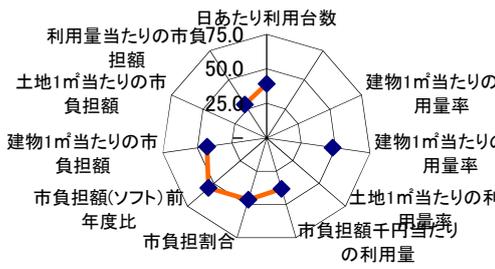
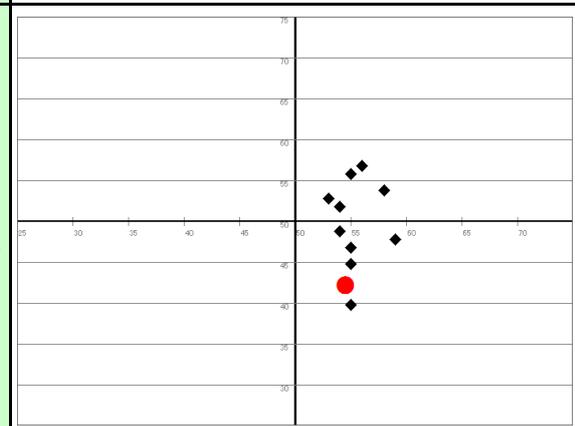
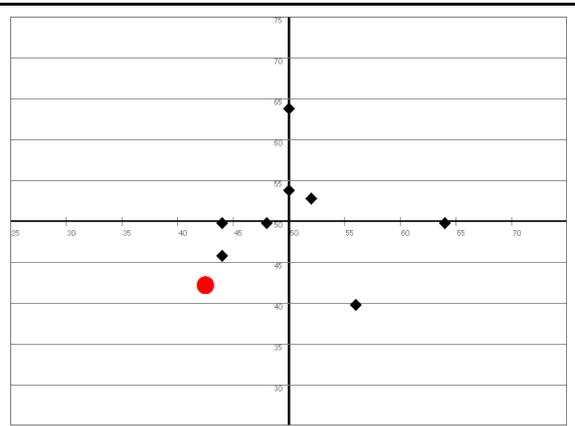
施設カルテ

平成29年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	6295		3.利用用途別分類	その他施設							
2.施設名	別府街区公園(自転車駐車場)		4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	広島一丁目98		15.設置根拠法令								
6.バス停	宮崎税務署前(130m)		16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例第1条第1項							
7.開設年月日	平成3年5月1日		17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営		18. 外観								
9.指定管理期間											
10.用途地域	商業地域			19. 内部							
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	宮崎市自転車駐車場条例第1条第1項。高千穂通付近への買物客や通勤者などの中心市街地への放置自転車の拡大を受け、歩行者の安全性の確保のため、また、公園を利用する市民への利便を図るため、中心市街地に位置する本場所に自転車駐車場を設置した。										
											
13.主な利用者	近隣の商業施設利用者および公園利用者等。		20.避難所の指定(標高)	— 13.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	80.00 m ²		24. 建物情報	総延床面積	80.00 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	— (—)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1991年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算			平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	未対象			
		台	前年比%		台	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用台数2	21,170	138.1		15,330	—	借受面積	0.00 m ²			
	開場日数	365	100.0		365	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	日あたり利用台数	58	138.1		42	—	未利用スペース	0 m ²			
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算			平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円			前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		751	99.9	752	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト		1	50.0	2	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト		0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト		750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨		0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト		0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト		0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	751	99.9	752	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0		0		31. 市負担	751	99.9	752	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	751	99.9	752	—		
					市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	生活安全課		33.施設主管課	生活安全課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	6295	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	別府街区公園(自転車駐車場)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		54.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		42.6			
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	25.000 年	50.7	25.800 年	
		劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
		評価値	54.3			
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	58.000 台	39.2	235.000 台	
		建物1㎡当たりの利用量率				
		建物1㎡当たりの利用量率	0.725 台	47.9	0.902 台	
		土地1㎡当たりの利用量率				
		市負担額千円当たりの利用量	28.189	38.2	81.900	
		評価値	41.8			
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	100.000 %	46.4	99.440 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	99.900 %	55.1	100.922 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	9.388 千円	43.1	5.619 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
		利用量当たりの市負担額	0.035 千円	28.7	0.016 千円	
		評価値	43.3			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6295	利用用途別分類	その他施設
施設名	別府街区公園(自転車駐車場)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点以上、供給評価、財務評価は平均点未満である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】日あたり利用台数【原因】公園に付属する駐輪場であり、利用可能台数の77%程は利用している。②【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】公園に付属する駐輪場であり、利用可能台数の77%程は利用している。③【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】施設にかかるコストは管理委託料、年間1千円程度である。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】市営駐輪場の利用料金は無料としているため。②【評価指標】建物1㎡当たりの利用量の評価【原因】施設にかかるコストは管理委託料、年間1千円程度である。③【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】施設にかかるコストは管理委託料、年間1千円程度である。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に複数の同じ利用用途の施設がある。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎駅北自転車駐車場、宮崎市教育情報研修センター、宮崎小学校ほか34施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道220号線橋通りから東に200mの本町通りに位置し橋通りのバス停や、北へ200mに高千穂通りのバス停もあり交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央東) 【現在の人口】24,777人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6295	利用用途別分類	その他施設
施設名	別府街区公園(自転車駐車場)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	他の自転車駐車場などと比較して建物の品質評価は平均以上であり、築24年を超えているが、定期点検の結果、屋根、柱の劣化も低く、大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低く、多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外するとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	1日あたり58台程度、利用可能台数の77%程度が利用されており施設にかかるコストは年間1千円程度である。施設周辺の放置自転車を防ぎ、歩行者の安全性の確保のため、また、公園を利用する市民への利便を図るためにも本施設を継続する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外するとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6295	利用用途別分類	その他施設
施設名	別府街区公園(自転車駐車場)	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	他の自転車駐車場などと比較して建物の品質評価は平均以上であり、築24年を超えているが、定期点検の結果、屋根、柱の劣化も低く、大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低く、多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	1日あたり58台程度、利用可能台数の77%程度が利用されており施設にかかるコストは年間1千円程度である。施設周辺の放置自転車を防ぎ、歩行者の安全性の確保のため、また、公園を利用する市民への利便を図るためにも本施設を継続する。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	6955		3.利用用途別分類	その他施設	
2.施設名	二葉街区公園(自転車駐車場)		4.利用圏域別分類	地域	
5.所在地(町名・番地)	清水一丁目114-1		15.設置根拠法令		
6.バス停	MRT前(80m)		16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例	
7.開設年月日	平成3年5月1日		17.市の計画	現状のまま当面は存続する	
8.施設運営形態(指定管理者)	直営		18. 外観		
9.指定管理期間					
10.用途地域	商業地域			19. 内部	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	宮崎市自転車駐車場条例第1条第1項。橋通前や一番街などへの買物客や通勤者などの中心市街地への放置自転車の拡大を受け、歩行者の安全性の確保、都市景観のため、また、公園を利用する市民への利便を図るため中心市街地に位置する本場所に自転車駐車場を設置した。				
					
13.主な利用者	近隣の商業施設利用者、公園利用者		20.避難所の指定(標高)	— 8.00 m	
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	80.00 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		台	前年比%	台	前年比%
	利用台数2	29,200	125.0	23,360	—
	開場日数	365	100.0	365	—
	日あたり利用台数	80	125.0	64	—
24. 建物情報	総延床面積	80.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨			
	建築年(主たる建物)	1991年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	751	99.9	752	—
	施設のコスト	1	50.0	2	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	751	99.9	752	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		
28.工事請負費・修繕費	0		—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0		—		
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0		—		
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	751	99.9	752	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	生活安全課		33.施設主管課	生活安全課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	6955	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	二葉街区公園(自転車駐車場)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満	C				
	品質評価の評価(偏差値)	55.3				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	45.0				
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	25.000 年	50.7	25.800 年	
		劣化度点数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
		評価値	55.3			
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	80.000 台	40.5	235.000 台	
		建物1㎡当たりの利用量率				
		建物1㎡当たりの利用量率	1.000 台	51.2	0.902 台	
		土地1㎡当たりの利用量率				
		市負担額千円当たりの利用量	38.881	40.6	81.900	
		評価値	44.1			
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	100.000 %	46.4	99.440 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	99.900 %	55.1	100.922 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	9.388 千円	43.1	5.619 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
		利用量当たりの市負担額	0.026 千円	39.0	0.016 千円	
		評価値	45.9			
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6955	利用用途別分類	その他施設
施設名	二葉街区公園(自転車駐車場)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点以上、供給評価、財務評価は平均点未満である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【日あたり利用台数】【原因】公園に付属する駐輪場であり、利用可能台数の114%利用している。 ②【市負担額千円当たりの利用量】【原因】施設にかかるコストは管理委託料、年間1千円程度である。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】市営駐輪場の利用料金は無料としているため。②【評価指標】建物1㎡当たりの利用量の評価【原因】施設にかかるコストは管理委託料、年間1千円程度である。③【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】施設にかかるコストは管理委託料、年間1千円程度である。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に複数の同じ利用用途の施設がある。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	一番街第一自転車駐車場, 千草街区公園, 宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)ほか33施設。	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮(自転車置場)、瀬頭別館ほか50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道10号線橋通りから西に100mの西二葉通りに位置し、橋通りのバス停や南50mに高千穂通りのバス停があり交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央西) 【現在の人口】19,959人(平成29年1月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6955	利用用途別分類	その他施設
施設名	二葉街区公園(自転車駐車場)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築24年を超えているが、定期点検の結果、床、屋根、柱の劣化も低く、大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低く、多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	1日あたり80台程度、利用可能台数の100%以上の利用率であり、施設にかかるコストは年間1千円程度である。施設周辺の放置自転車を防ぎ、歩行者の安全性の確保のため、また、公園を利用する市民への利便を図るためにも本施設を継続する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6955	利用用途別分類	その他施設
施設名	二葉街区公園(自転車駐車場)	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。総量の最適化の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。質の向上の取り組みとして他の類似施設と光熱水費、ごみ処理費などを比較して必要な業務改善に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	他の自転車駐車場などと比べて、建物の品質評価は平均以上であり、築24年を超えているが、定期点検の結果、床、屋根、柱の劣化も低く、大規模改修は不要であると考えている。施設にかかるコストも低く、多くの利用があることから現サービスを継続して提供する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	計画的に保全工事を実施し、改修や建て替えの周期をできるだけ長期化する。また、長期化に取り組む一方で新たな建て替えは基本的に行わない。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	1日あたり80台程度、利用可能台数の100%以上の利用率であり、施設にかかるコストは年間1千円程度である。施設周辺の放置自転車を防ぎ、歩行者の安全性の確保のため、また、公園を利用する市民への利便を図るためにも本施設を継続する。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	市が所有する駐輪場全体の中で、光熱水費の見直し(LED蛍光灯にするなど)の検討。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	6820	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	宮崎市上野町駐車場	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.所在地(町名・番地)	上野町6-14	15.設置根拠法令	駐車場法				
6.バス停	橘通り2丁目(160m)	16.設置条例	宮崎市駐車場条例				
7.開設年月日	昭和46年12月26日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する				
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(株式会社NPK)	18. 外観	 				
9.指定管理期間							
10.用途地域	商業地域						
11.財産区分	公共用						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	中心市街地の駐車場の需要に安定的に対応するために設置した。	19. 内部	 				
13.主な利用者	近隣繁華街の利用者						
14.利用者駐車可能台数	15台						
20.避難所の指定(標高)	—				6.20 m		
21.投票所の指定	無						
22. 土地情報	土地面積	882.68 m ²					
	現況地目	宅地					
	土地所有形態	所有					
	借受面積	0.00 m ²					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算			
		台	前年比%	台	前年比%		
	利用台数2	16,254	106.5	15,260	—		
	開場日数	365	99.7	366	—		
	日あたり利用台数	45	107.1	42	—		
24. 建物情報	総延床面積	34.61 m ²					
	取得価額計(開始時簿価計)	12547千円 (—)					
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨					
	建築年(主たる建物)	2001年					
	法定点検(主たる建物)	未対象					
	建物所有状況	市有物件					
	借受面積	0.00 m ²					
	耐震対応(主たる建物)	対応済					
	未利用スペース	0 m ²					
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		
千円			前年度比%	千円	前年度比%		
市の収入計① (②+③)		5,768	104.2	5,535	—		
使用料(減免後)②		5,768	104.2	5,535	—		
その他③		0	—	0	—		
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—		
指定管理者の収入計⑤		2,945	95.3	3,089	—		
指定管理料⑥		2,945	95.3	3,089	—		
利用料金収入		0	—	0	—		
自主事業収入		0	—	0	—		
その他収入	0	—	0	—			
収入合計⑦	8,713	101.0	8,624	—			
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算			
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,391	99.1	2,412	—		
	施設のコスト	1,641	98.7	1,662	—		
	事業のコスト	0	—	0	—		
	人に係るコスト	750	100.0	750	—		
	指定管理者の支出計⑨	2,903	94.9	3,060	—		
	施設のコスト	1,150	89.0	1,292	—		
	自主事業以外のコスト	83	84.7	98	—		
	自主事業のコスト	0	—	0	—		
人に係るコスト	1,670	100.0	1,670	—			
支出合計⑩	5,294	96.7	5,472	—			
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—			
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—			
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	5,768	104.2	5,535	—			
	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	△ 432	1270.6	△ 34	—		
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	42	144.8	29	—			
			31. 市負担割合(%) (⑪÷⑩)	△ 8	1313.3	△ 1	—
32.施設所管課	公園緑地課	33.施設主管課	公園緑地課				

(2)施設評価シート

1.台帳番号	6820	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	宮崎市上野町駐車場	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		55.0			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.7			
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	15.000 年	59.1	25.800 年
			劣化度数(棟平均)	2.000 件	49.5	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
			評価値	55.0		
②供給評価	利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用台数	45.000 台	43.4	264.000 台
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量率	1.287 台	63.9	0.536 台
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量			
			評価値	53.7		
③財務評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	0.000 %	57.1	33.333 %
			市負担額(ソフト)前年度比			
			建物1㎡当たりの市負担額	△ 12.482 千円	59.8	6.432 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	△ 0.027 千円	56.0	0.081 千円
			評価値	57.6		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	6820	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市上野町駐車場	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価・供給評価・財務評価全てで平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均) 【原因】経年による劣化や、いたずら等による内部の損傷がある。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】日あたり利用台数 【原因】駐車可能台数が15台であるため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に同じ利用用途の民間施設が多数ある。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	みやざきアートセンター、宮崎市消防団中央分団第2部消防団倉庫、別府街区公園、宮崎市消防団第3部消防団倉庫、宮崎市橋通東3丁目駐車場、宮崎市民プラザ、本庁舎、橋公園、宮崎市小戸地域事務所、宮崎市青少年育成センター、小戸団地、ほか22施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	田野駅前広場、宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)、宮崎市青島駅西口駐車場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	MRTパーキング、山形屋駐車場、カリーノ宮崎駐車場、ボンベルタ橋立体駐車場、コージーパーキングほか	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道10号線から市道あおぞら通りを140m西進した位置にあり、近くにバス停留所があるなど、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】800万円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設はコンパクトな敷地に、都市計画駐車場と駐輪場、及び、公衆トイレや管理事務所の複合施設が配置された中心市街地に存する貴重な公共空間となっており、それぞれの機能が有機的に連携して設置効果を発揮している。したがって、それぞれの施設の品質を保全し、利用者の利便性と快適性を保持していくことが、市の利益につながる。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6820	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市上野町駐車場	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む、「質の向上」の取り組みとして、機能は、利便性と快適性の維持・向上を図ることにより、収益を安定的に確保する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	品質評価は平均点以上であるため。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	駐車場は、中心市街地の駐車場不足を解消するために駐車場整備計画に基づき整備された都市計画駐車場であり、公衆トイレや公共の駐輪場も併設されているため、継続して経営する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	単なる指定管理料の削減は困難である。駐車場使用料収入が増えることにより、市負担額の軽減となるため、適時・適切な維持管理に取り組む、利便性と快適性を向上させ、収益を安定的に確保する。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6820	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市上野町駐車場	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む、「質の向上」の取り組みとして、機能は、利便性と快適性の維持・向上を図ることにより、収益を安定的に確保する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	品質評価は平均点以上であるため。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外するとき	「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	駐車場は、中心市街地の駐車場不足を解消するために駐車場整備計画に基づき整備された都市計画駐車場であり、公衆トイレや公共の駐輪場も併設されているため、継続して経営する。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外するとき	単なる指定管理料の削減は困難である。駐車場使用料収入が増えることにより、市負担額の軽減となるため、適時・適切な維持管理に取り組む、利便性と快適性を向上させ、収益を安定的に確保する。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	6270	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	橋通東三丁目6-16	15.設置根拠法令	駐車場法		
6.バス停	山形屋前(宮崎市)(100m)	16.設置条例	宮崎市橋通東3丁目駐車場条例		
7.開設年月日	平成20年6月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(文化グループ連合体)	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	商業地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	中心市街地の駐車場の需要に対応するため、民間と共同で10階建の立体駐車場を設置した。収容台数428台のうち、市が285台、民間が143台を持分とし、管理運営している。	19. 内部	 		
13.主な利用者	中心市街地の買い物客等				
14.利用者駐車可能台数	285台	20.避難所の指定(標高)	— 5.60 m		
21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	2,505.32 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		台	前年比%	台	前年比%
	利用台数2	268,480	100.9	266,008	—
	開場日数	365	99.7	366	—
	日あたり利用台数	736	101.2	727	—
24. 建物情報	総延床面積	14,132.73 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	344826千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上5階・S・鉄骨			
	建築年(主たる建物)	2008年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		26,069	121.9	21,382	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		26,069	121.9	21,382	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		61,703	102.0	60,503	—
指定管理料⑥		1,379	121.9	1,131	—
利用料金収入		60,038	101.1	59,369	—
自主事業収入		285	—	0	—
その他収入	1	33.3	3	—	
収入合計⑦	87,772	107.2	81,885	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	7,261	100.1	7,253	—
	施設のコスト	6,511	100.1	6,503	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	32,458	88.3	36,751	—
	施設のコスト	25,196	85.4	29,489	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	7,262	100.0	7,262	—	
支出合計⑩	39,719	90.3	44,004	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—				
28.工事請負費・修繕費	0				
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	86,393	107.0	80,754	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	29,245	123.1	23,752	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	△ 17,429	134.1	△ 12,998	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	△ 44	148.6	△ 30	—
32.施設所管課	公園緑地課	33.施設主管課	公園緑地課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	6270	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		57.8			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		54.5			
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	8.000 年	65.0	25.800 年	
		劣化度点数(棟平均)	0.400 件	57.5	1.900 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
		評価値	57.8			
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		日あたり利用台数	736.000 台	64.1	264.000 台	
		建物1㎡当たりの利用量率				
		建物1㎡当たりの利用量率	0.052 台	41.0	0.536 台	
		土地1㎡当たりの利用量率				
		市負担額千円当たりの利用量				
		評価値	52.6			
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
		市負担割合	0.000 %	57.1	33.333 %	
		市負担額(ソフト)前年度比				
		建物1㎡当たりの市負担額	△ 1.233 千円	54.0	6.432 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
		利用量当たりの市負担額	△ 0.065 千円	58.1	0.081 千円	
		評価値	56.4			
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6270	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市橋通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価・供給評価・財務評価全てで平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】10階建の施設であり、駐車スペース以外の面積が大きいため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に同じ利用用途の民間施設がある。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	二葉街区公園、一番街第一自転車駐車場、別府街区公園、宮崎市消防団第3部消防団車庫、みやざきアートセンター、上野町駐車場、千草街区公園、宮崎市栄町児童館、栄町街区公園、宮崎市教育情報研修センター、宮崎小学校、宮崎市民プラザ、ほか27施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	田野駅前広場、上野町駐車場、宮崎市青島駅西口駐車場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	MRTパーキング、山形屋駐車場、カリーノ宮崎駐車場、ボンベルタ橋立体駐車場、コージーパーキングほか	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道10号線デパート前交差点から高千穂通を200m東進した位置にあり、近くにバス停留所や宮崎駅もあるため、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】26.9億円	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設の指定管理料は、利益(利用料金収入－管理経費)の5%(H28:2,058千円)、市の収入は、利益から指定管理料を控除した額を、本施設の共同設置者(民間)と持分割合により配分した額(H28:26,069千円)である。したがって、単なる指定管理料の削減よりも、利用料金収入の増額を目指した方が市の利益効率は高くなる。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6270	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市橘通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、機能は安全性の確保と更なる経営の効率化により、収益の維持・向上を図る。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	品質評価は平均点以上であるため。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	駐車場整備計画に基づき、中心市街地の駐車場不足を解消するために整備された施設であり、安全性の確保と効率的な経営を持続的に両立させ、収益を安定的に確保する必要がある。したがって、共同所有者(民間)と連携し、さらなるサービスの充実に取り組む。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	単なる指定管理料の削減よりも、利用料金収入の増額に取り組むことで市の利益も高くなることから、「機能の評価(案)の理由」のとおり、民間と連携し、さらなるサービスの向上を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	6270	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市橘通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、機能は安全性の確保と更なる経営の効率化により、収益の維持・向上を図る。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	品質評価は平均点以上であるため。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外するとき	「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全に取り組む。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	駐車場整備計画に基づき、中心市街地の駐車場不足を解消するために整備された施設であり、安全性の確保と効率的な経営を持続的に両立させ、収益を安定的に確保する必要がある。したがって、共同所有者(民間)と連携し、さらなるサービスの充実に取り組む。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外するとき	単なる指定管理料の削減よりも、利用料金収入の増額に取り組むことで市の利益も高くなることから、「機能の評価の理由」のとおり、民間と連携し、さらなるサービスの向上を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1) 施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	7890	3.利用用途別分類	その他施設			
2.施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.所在地(町名・番地)	青島西二丁目14	15.設置根拠法令	駐車場法			
6.バス停	青島(290m)	16.設置条例	宮崎市駐車場条例			
7.開設年月日	平成9年5月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する			
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観	 			
9.指定管理期間						
10.用途地域	第二種住居地域		19. 内部	 		
11.財産区分	公共用					
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	青島地域の住民や観光客の駐車場の需要に対応するために設置した。					
13.主な利用者	市民、観光客	20.避難所の指定(標高)	— 4.60 m			
14.利用者駐車可能台数	41台	21.投票所の指定	無			
22. 土地情報	土地面積	5,228.14 m ²				
	現況地目	宅地				
	土地所有形態	所有				
	借受面積	0.00 m ²				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		
		台	前年比%	台	前年比%	
	利用台数2	4,000	100.0	4,000	—	
	開場日数	365	99.7	366	—	
	日あたり利用台数	11	100.0	11	—	
24. 建物情報	総延床面積	40.50 m ²				
	取得価額計(開始時簿価計)	18231千円 (—)				
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	建築年(主たる建物)	1997年				
	法定点検(主たる建物)	未対象				
	建物所有状況	市有物件				
	借受面積	0.00 m ²				
	耐震対応(主たる建物)	対応済				
	未利用スペース	0 m ²				
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
千円			前年度比%	千円	前年度比%	
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—	
使用料(減免後)②		0	—	0	—	
その他③		0	—	0	—	
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—	
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—	
指定管理料⑥		0	—	0	—	
利用料金収入		0	—	0	—	
自主事業収入		0	—	0	—	
その他収入		0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—		
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,337	102.4	1,306	—	
	施設のコスト	587	105.6	556	—	
	事業のコスト	0	—	0	—	
	人に係るコスト	750	100.0	750	—	
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—	
	施設のコスト	0	—	0	—	
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—	
	自主事業のコスト	0	—	0	—	
人に係るコスト	0	—	0	—		
支出合計⑩	1,337	102.4	1,306	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—		
28.工事請負費・修繕費	32	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—		
30. 指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,337	102.4	1,306	—
		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	公園緑地課	33.施設主管課	公園緑地課			

(2)施設評価シート

1.台帳番号	7890	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C		
	品質評価の評価(偏差値)		55.3		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		39.9		
①品質評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	19.000 年	55.7	25.800 年
		劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
		評価値	55.3		
②供給評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		日あたり利用台数	11.000 台	42.4	264.000 台
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率	0.271 台	45.1	0.536 台
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	2.992	-	-
		評価値	43.8		
③財務評価	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	35.9	33.333 %
		市負担額(ソフト)前年度比	99.900 %	-	- %
		建物1㎡当たりの市負担額	33.012 千円	36.3	6.432 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.334 千円	35.9	0.081 千円
		評価値	36.0		
品質評価の分布図					

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	7890	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点以上、供給評価・財務評価は平均点以下である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】日あたり利用台数 【原因】立地によるもの。 【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】立地によるもの。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】無料施設であるため。 【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】無料施設であるため。 【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】無料施設であるため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に類似の公共施設や民間施設がある。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	青島地域総合センター(青島地域センター・青島保育所・青島児童センター・青島公民館)、宮崎市消防団青島分団第1部・第2部・第6部消防団車庫、宮崎市南消防署青島出張所、宮崎市消防団旧青島分団第6部消防団車庫、青島水防倉庫、宮崎市幼稚仔育成施設、青島海水浴場管理棟、松添街区公園、青島歴史文化の広場	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	青島駅東口駐車場、田野駅前広場、宮崎市橘通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)、上野町駐車場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	MRTパーキング、山形屋駐車場、カリーノ宮崎駐車場、ボンベルタ橋立体駐車場、コージーパーキングほか	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	JR青島駅の西側に隣接しており、国道220号線青島バイパスの下り口から約1km程度南進した位置にあるため、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	特に勘案すべき点はない。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	7890	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、必要に応じて保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、機能を保持できる最低限の維持管理に留め、管理経費を削減する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	品質評価は平均点以上であるため。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、必要に応じた保全に取り組む。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	青島地区の将来的な駐車場不足を解消するため計画的に用地を取得し整備された施設であり、「青島地域の活性化」に資するため継続して保有している。しかしながら、周辺地域への駐車場の新設や市街化の鈍化等により想定した本施設の需要は得られておらず、利用者数は極めて少ない状態で推移している。したがって、施設の保持は継続するものの、最低限の維持管理に留めて管理経費の削減に取り組む。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	引き続き広場部分を駐車場と分離して管理を行うことで、経費の削減を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	7890	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市青島駅西口駐車場	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、必要に応じて保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、機能を保持できる最低限の維持管理に留め、管理経費を削減する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	品質評価は平均点以上であるため。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	「総量の最適化」の取り組みとして、施設は、将来の修繕更新費用を削減するため、必要に応じた保全に取り組む。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	青島地区の将来的な駐車場不足を解消するため計画的に用地を取得し整備された施設であり、「青島地域の活性化」に資するため継続して保有している。しかしながら、周辺地域への駐車場の新設や市街化の鈍化等により想定した本施設の需要は得られておらず、利用者数は極めて少ない状態で推移している。したがって、施設の保持は継続するものの、最低限の維持管理に留めて管理経費の削減に取り組む。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	引き続き広場部分を駐車場と分離して管理を行うことで、経費の削減を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	4380	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	公園休憩所(加江田溪谷関係)	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	鏡洲	15.設置根拠法令			
6.バス停		16.設置条例			
7.開設年月日	平成15年4月9日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	本施設は、平成14年度に加江田野営場整備の一環として、宮崎自然休養林内の遊歩道沿いに設置された。林内を散策される多くの観光客に利用されている。	19. 内部	 		
13.主な利用者	県内外の観光客				
14.利用者駐車可能台数	0台	20.避難所の指定(標高)	— 17.60 m		
22. 土地情報		21.投票所の指定			
22. 土地情報	土地面積 23.01 m ²	24.建物情報			
	現況地目 山林	総延床面積 23.01 m ²			
	土地所有形態 借受	取得価額計(開始時簿価計) 20171千円 (—)			
	借受面積 23.01 m ²	階数・構造(主たる建物) 地上1階・W・木造			
23. 利用情報	(区分・単位)	— —			
	—	—	前年比%	—	
	—	—	前年比%	—	
	—	—	前年比%	—	
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	878	99.8	880	—
	施設のコスト	128	98.5	130	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	878	99.8	880	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	878	99.8	880	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	森林水産課	33.施設主管課	森林水産課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4380	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	公園休憩所(加江田溪谷関係)	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満				C		
	品質評価の評価(偏差値)				51.5		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				49.7		
① 品質評価	クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	13.000 年	60.8	25.800 年	
			劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	42.4	0.900 件	
			評価値	51.5			
② 供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
						評価値	#DIV/0!
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			市負担割合	100.000 %	45.0	87.096 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	99.800 %	51.3	108.824 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	38.157 千円	52.9	70.936 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				
			利用量当たりの市負担額				
			評価値	49.7			
品質評価の分布図							
	供給評価・財務評価の分布図						
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	4380	利用用途別分類	その他施設
施設名	公園休憩所(加江田溪谷関係)	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価は平均点以上、供給・財務評価は平均点以下となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】本施設は宮崎自然休養林内に設置されていることから、利用者が限られており、林内を散策する入林者を対象としているため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】本施設の利用について、使用料を徴収していないため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体に同じ利用用途の施設が点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	なし	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業訓練センター、旧大神宮、瀬頭別館のほか58施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道220号線南バイパスから県道塩鶴木崎線を道なりに10分程度進んだところに位置する丸野駐車場にて下車し、そこから徒歩で60分程度進んだ位置にある。丸野駐車場からは車両は通行できないため、徒歩での移動となる。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】700万円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査対象外。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	4380	利用用途別分類	その他施設
施設名	公園休憩所(加江田溪谷関係)	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質については平均点以上であり、今後5年以内に大規模改修や建て替えの予定はない。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	計画的な保全に取り組むこととし、大規模な修繕や建て替えの際には、規模を縮小することで将来の修繕更新費用の削減を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	最低限の維持管理のみを行っているため、改善の余地はないため。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	最低限の維持管理のみを行っているため、削減する取り組みの余地はない。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	4380	利用用途別分類	その他施設
施設名	公園休憩所(加江田溪谷関係)	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質については平均点以上であり、今後5年以内に大規模改修や建て替えの予定はない。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外するとき	計画的な保全に取り組むこととし、大規模な修繕や建て替えの際には、規模を縮小することで将来の修繕更新費用の削減を図る。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	最低限の維持管理のみを行っているため、改善の余地はないため。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外するとき	最低限の維持管理のみを行っているため、削減する取り組みの余地はない。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	10	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	宮崎職業訓練センター	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	赤江868-16	15.設置根拠法令	職業能力開発促進法		
6.バス停	赤江浜入口(610m)	16.設置条例			
7.開設年月日	昭和53年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	民営(貸付)	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	工業地域		19. 内部		
11.財産区分	普通				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	宮崎市の普通財産として管理している当該施設は、認定職業訓練法人宮崎職業訓練協会に無償貸付を行い、同協会が、宮崎高等技術専門校(認定職業訓練校)として利用している。※認定職業訓練校の根拠法令は「職業能力開発促進法」※敷地は、宮崎職業訓練協会所有				
13.主な利用者	職業訓練生	20.避難所の指定(標高)	— 4.50 m		
14.利用者駐車可能台数	72台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	3,887.16 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	借受			
	借受面積	3,887.16 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	—		—	
	—	—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	975.62 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	90222千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1978年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	—			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	3,564	99.0	3,601	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	事業のコスト	2,814	98.7	2,851	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	3,564	99.0	3,601	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		
28.工事請負費・修繕費	0		0		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0		0		
30. 指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		
	—		—		
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		3,564 99.0 3,601		
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)		100 100.0 100		
32.施設所管課	商工戦略局商業労政課		33.施設主管課	商工戦略局商業労政課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	10	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	宮崎職業訓練センター	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満				B		
	品質評価の評価(偏差値)				47.4		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				50.8		
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	37.100 年	40.5	25.800 年	
			劣化度数(棟平均)	0.300 件	58.0	1.900 件	
			耐震対応(棟平均)	4.100 点	40.2	4.700 点	
			クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	1.900 件	43.1	0.900 件	
			評価値			47.4	
②供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
						評価値	
③財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			市負担割合	100.000 %	45.0	87.096 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	99.000 %	51.5	108.824 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	3.653 千円	55.9	70.936 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				
			利用量当たりの市負担額				
			評価値			50.8	
品質評価の分布図							
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価・財務評価の分布図					
供給評価(横) / 財務評価(縦)							

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	10	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎職業訓練センター	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	築35年以上経過しており、品質評価は平均点未満であるが、財務評価は平均点以上であった。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均)【原因】築39年が経過しているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均)【原因】対象となる棟については、耐震診断の結果が充足となっているが、耐震の対象外となる棟があるため評価が低い。 ③【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均)【原因】視覚障害者のための誘導用床材等や車椅子使用者用駐車場が設置されていないため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担額割合 【原因】職業訓練法人 宮崎職業訓練協会に対して無償貸付を行っているため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	職業訓練を実施するためには、実技演習が可能な設備等を備えていなければならないが、市内に特殊性を有する類似施設は少ない。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	飛江田団地、飛江田集会所、飛江田街区公園、緑ヶ丘集会所、たんぼり公園、緑松公園、宮崎市緑松体育館、山内川緑地、共同利用施設ひえだセンター	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎みたま園他約50施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎職業能力開発促進センター(ポリテクセンター宮崎)	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	用途地域は、工業地域内に位置しており、周辺道路は狭隘で、車の離合が困難なところがある。最寄のバス停「赤江浜入口」までは約500mの距離	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】3.7億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	当施設は、県の認定を受けた職業訓練事業を実施する宮崎高等技術専門校として利用され、多くの在職中の労働者が技能士等の資格取得や専門的技術習得など技能の向上を目的に訓練を受け、毎年、多くの優秀な技能者を育成、輩出している。 また、職業訓練法人宮崎職業訓練協会が、市民の就労環境充実に直接供し、公共性・公益性が極めて高いため無償貸付とする。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	10	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎職業訓練センター	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の大規模修繕費用を削減するために、適宜改修を行うことで、計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、事業実施団体である職業訓練法人宮崎職業訓練協会は営利団体ではなく、公益性を有した事業内容は、技能者の育成及び雇用の安定・促進にも寄与しており、職業訓練が円滑に行われるよう、今後も継続して支援していく。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	平成25年度に一部の棟の外壁補修と、屋上防水工事、及びトイレのバリアフリー化を、国、県補助を活用し行った。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	日常の目視による点検や、定期的な診断を行うことにより、大規模な修繕・更新費用を抑制、削減する。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	同様の設備を備えた類似施設が、市内に希少であるため。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	職業訓練法人宮崎職業訓練協会は、国・県・市助成の他は、事業主や訓練生の負担金約500万円の収入のみである。その中から同協会は、固定資産税約130万円を支払っており、施設を安定的に運営、維持するためには、国・県・市からの継続した助成が必要である。そのため、引き続き訓練生募集等を側面的に支援し、効率的な運営や国や県へ補助制度の見直しを働きかけることも検討する。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	10	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎職業訓練センター	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の大規模修繕費用を削減するために、適宜改修を行うことで、計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、事業実施団体である職業訓練法人宮崎職業訓練協会は営利団体ではなく、公益性を有した事業内容は、技能者の育成及び雇用の安定・促進にも寄与しており、職業訓練が円滑に行われるよう、今後も継続して支援していく。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	平成25年度に一部の棟の外壁補修と、屋上防水工事、及びトイレのバリアフリー化を、国、県補助を活用し行った。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	日常の目視による点検や、定期的な診断を行うことにより、大規模な修繕・更新費用を抑制、削減する。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	同様の設備を備えた類似施設が、市内に希少であるため。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	職業訓練法人宮崎職業訓練協会は、国・県・市助成の他は、事業主や訓練生の負担金約500万円の収入のみである。その中から同協会は、固定資産税約130万円を支払っており、施設を安定的に運営、維持するためには、国・県・市からの継続した助成が必要である。そのため、引き続き訓練生募集等を側面的に支援し、効率的な運営や国や県へ補助制度の見直しを働きかけることも検討する。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	8310	3.利用用途別分類	その他施設								
2.施設名	荒平山森林公園	4.利用圏域別分類	広域・市域								
5.所在地(町名・番地)	清武町今泉甲1522-13	15.設置根拠法令									
6.バス停		16.設置条例									
7.開設年月日	平成14年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他		19. 内部								
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	荒平山森林公園は、市有林の一部22.7haを、森林を活用した安らぎの場として整備を行なっている施設であり、市民や各団体の利用も増加している。標高496.7mに位置し、展望所、巨木の森、つばきの森、多目的広場、駐車場、トイレを有し、現在、照明や防護柵設置などの安全施設の整備を進めている。水道設備がなく貯水方式をとっているため、衛生面の管理と施設の利用促進が今後の課題である。										
13.主な利用者	地区住民	20.避難所の指定(標高)	— 20.00 m								
14.利用者駐車可能台数	30台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	227,000.00 m ²				24. 建物情報	総延床面積	13.00 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	2001年			
23. 利用情報	(区分・単位)	—		—		法定点検(主たる建物)	未対象				
	—	—	前年比%	—	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	—	—	—	—	—	借受面積	0.00 m ²				
	—	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	4,920	149.7	3,287	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	2,670	257.5	1,037	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	2,250	100.0	2,250	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	4,920	149.7	3,287	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	1,919	1938.4	99	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0		0		31. 市負担	4,920	149.7	3,287	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	100	100.0	100	—		
					市負担割合(%) (⑪÷⑩)						
32.施設所管課	清武・農林建設課				33.施設主管課	清武・農林建設課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8310	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	荒平山森林公園	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満				C		
	品質評価の評価(偏差値)				54.2		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				40.1		
①品質評価	バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	15.000 年	59.1	25.800 年	
			劣化度点数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
			クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	42.4	0.900 件	
			評価値			54.2	
②供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
						評価値	
③財務評価	市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			市負担割合	100.000 %	45.0	87.096 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	94.100 %	52.2	108.824 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	378.462 千円	23.2	70.936 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額		千円		千円
			利用量当たりの市負担額		千円		千円
			評価値			40.1	
品質評価の分布図							
	供給評価・財務評価の分布図						
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)							
供給評価(横) / 財務評価(縦)							

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	8310	利用用途別分類	その他施設
施設名	荒平山森林公園	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	施設の品質評価は平均点以上であり供給・財務、の評価は平均点未満であり、評価指標はCである。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】車椅子利用者への対応がなされていなかったため。29年3月にトイレ改修工事を行い、スロープと洋風便器を設置した。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】使用料の徴収がなく、全額市の負担となっているため。 ②【評価指標】建物1㎡当たり市負担額 【原因】他施設と比較すると、建物の面積が極めて小さいため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	荒平山森林公園は、22.7haにもおよぶ広大な公園であり、半径1km以内に他のトイレもないことから、公衆衛生上、必要な施設である。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	なし	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	市道「御崎柳ヶ谷線」から林道「丸目・松原線」を経由して、林道「荒平山線」の終点である。清武南ICからも近い。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】400万円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査の指摘はない。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	8310	利用用途別分類	その他施設
施設名	荒平山森林公園	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)及び機能の評価(案)ともに「継続」とする。施設の維持管理は、突発的な故障・修繕もあり得るが、予算の執行にあたっては、計画的かつ効率的に行う。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	平成28年度に女子トイレの改修とバリアフリー化を行ったため、当面は現状のまま継続する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	普段から施設の巡視に努め、異常を発見した場合には、速やかに対処し、被害を最小限に留める。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	荒平山森林公園は、荒平山の山頂に位置する遊歩道を有する22.7haにおよぶ公園であり、近辺にすぐに利用できるトイレもないことから継続とする。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	経年劣化は避けられないが、必要最小限の消耗品の購入や効率的な作業を行い、維持管理費の削減につなげる。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	8310	利用用途別分類	その他施設
施設名	荒平山森林公園	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価及び機能の評価ともに「継続」とする。施設の維持管理は、突発的な故障・修繕もあり得るが、予算の執行にあたっては、計画的かつ効率的に行う。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	平成28年度に女子トイレの改修とバリアフリー化を行ったため、当面は現状のまま継続する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	普段から施設の巡視に努め、異常を発見した場合には、速やかに対処し、被害を最小限に留める。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	荒平山森林公園は、荒平山の山頂に位置する遊歩道を有する22.7haにおよぶ公園であり、近辺にすぐに利用できるトイレもないことから継続とする。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	経年劣化は避けられないが、必要最小限の消耗品の購入や効率的な作業を行い、維持管理費の削減につなげる。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。なお、自転車駐車場のうち、宮崎駅および南宮崎駅以外の自転車駐車場は、建物(屋根)が老朽化して建て替えが必要な状態となった場合でも、建て替えは行わず、建物(屋根)を撤去する。	